

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑪保護者との連携・協力と相談支援

- ◆ 放課後児童クラブは、保護者と密接な連携を取り、安心して子育てと仕事を両立できるよう支援する必要があるため、保護者と柔らかな関係で共感し合い、互いの気持ちを肯定的に捉えること、そして褒めて認めて自信をもたせることが大事だと分かりました。また、保護者からの相談には不安や悩みに寄り添い、信頼関係を築き、保護者の自己決定を尊重して対応することを学びました。保護者と子どものその時々々の心持ちに共感できる支援員を目指したいと思います。
- ◆ 保護者との連携・協力の中で特に大切だと思ったのは、自己決定の尊重をするということです。子どものことで相談を受けたとしても、こうしたらいいと決定して伝えるのではなく、「どう思いますか?」「ゆっくり成長をみて考えませんか?」など決定するのは保護者自身であるということを学びました。仕草や表情が与える印象はとても大切であると知ったので、保護者の方と接するときに意識していきたいと思いました。
- ◆ 今回、保護者への対応で、こちら側からはっきり伝えるのではなく、保護者自身に気付いてもらえるように伝えることが大切だと知り、これから自分自身も保護者の一人として色々な場面で勉強していけたら良いと思いました。また、素直に話せない・話したくない人もいて、壁をつくってしまい、受け入れるのに時間がかかってしまうということが分かりました。保護者との信頼関係の構築（傾聴・受容・共感的理解）を大切にしていけるよう日々の生活で学びたいと思います。
- ◆ 日々保護者と接していく中で、本当の気持ちを出せずに職員を突き返すような反応をしたり、明るく振る舞っていても実は悩んでいて、話を聞くと泣き始めてしまうようなお母さんもいます。自分の日々の体験と重ね合わせ、自分の経験や知識を押しつける対応ではなく、保護者の毎日の努力に敬意を払い、子どもの成長を見守る関係を築いていきたいです。
- ◆ 支援員は保護者との連携や協力が大切であると学びました。苦手な保護者とはつい距離をとってしまいたくなりますが、そこから学んだり改善したりすることが多いと感じました。何事もすぐに良い悪いと判断せず、柔軟に対応するのが大事だと思いました。今回の研修はグループワークの実践が多く体感しながら学べたので良かったです。今後の支援員の仕事に活かしていきたいと思います。